



で、三条実美が五箇条の国是を読み上げ、神々に新しい国の方針を誓った。この御誓文に、当時の公家や武士の役人など約750人の署名したものが残っています。「広く会議を興し万機公論に決すべし」で始まる五箇条の国是を、日本国中の神々に

誓って、実現を誓っているのです。その750人も署名した誓紙の原本が東山御文庫に保管されており、来年から再来年にかけて「明治維新150年」の節目に、この誓紙をせめて複製でも広く見られるようにしてほしい。そうすれば、「五箇条の御誓文」が決して上意下達の命令文ではなく、当時の為政者や実務官人たちが神々に誓った誓約文であり、だからこそ、この新しい方針をみんなで協力して実行に移していただくことが広く理解していただけるのではないかと思います。

また、幕末までの御所周辺には、四親王家と呼ばれる皇族方や、五摂家など公家のお屋敷が立ち並んでいました。明治に入り多くは東京へ移られ、お屋敷はほとんど取り壊されてしまいました。しかし、幕末当時の京都が都として繁栄していた様子

を、全国から修学旅行で京都を訪れる小・中学・高校生たちにも分かるように、立体的な展示やバーチャルな映像で復元する試みも必要ではないかと考えています。ちなみに、大正天皇の御大礼の行われた直後の大正5年、京都教育会が京都市内にある幕末から明治にかけての史跡に、「坂本龍馬遭難の地」などの石標をたくさん建立しました。その大部分が今も残っていますが、今や海外からの観光客も多いのですから、それに外国語も交えた分かりやすい説明板を整備してほしいと思います。

このほど、文化庁の京都への全面移転が決まりました。20年前には誰も予想できなかった快挙です。それは京大名誉教授（臨床心理学者）の河合隼雄先生が平成14年（2002年）文化庁長官に就任され、長官の

分室を京都国立博物館に置かれたことが契機となり、文化庁移転の機運が高まり、今回の決定につながったのです。

この夏、今上陛下が高齢を理由に退位の御意向を表明され、いろいろ議論されております。そのために法の整備が進めば、おそらく3年以内（平成31年初めか）、今上陛下の代わりがあり、それに伴って、必ず新天皇の即位礼と大嘗祭が執り行われます。

それが大正・昭和天皇の時と同じように両方とも京都で実施されることは難しいかもしれません。平成2年には、百数十の国々からたくさんのお客様がお越しになりましたから、即位礼は国の儀式として東京で挙行される可能性が高いと思われま

す。けれども、せめて皇室行事の大嘗祭は、夜分の神事でもありますか

ら、静かな京都御苑内の仙洞御所跡地でやってほしいと考えています。

この案は、平成の初めに京都商工会議所会頭の塚本幸一さんが中心となり、大阪・神戸の商工会議所とともに政府へ強く要望されたこともあり、残念ながら警備上の理由などで採用されませんでした。

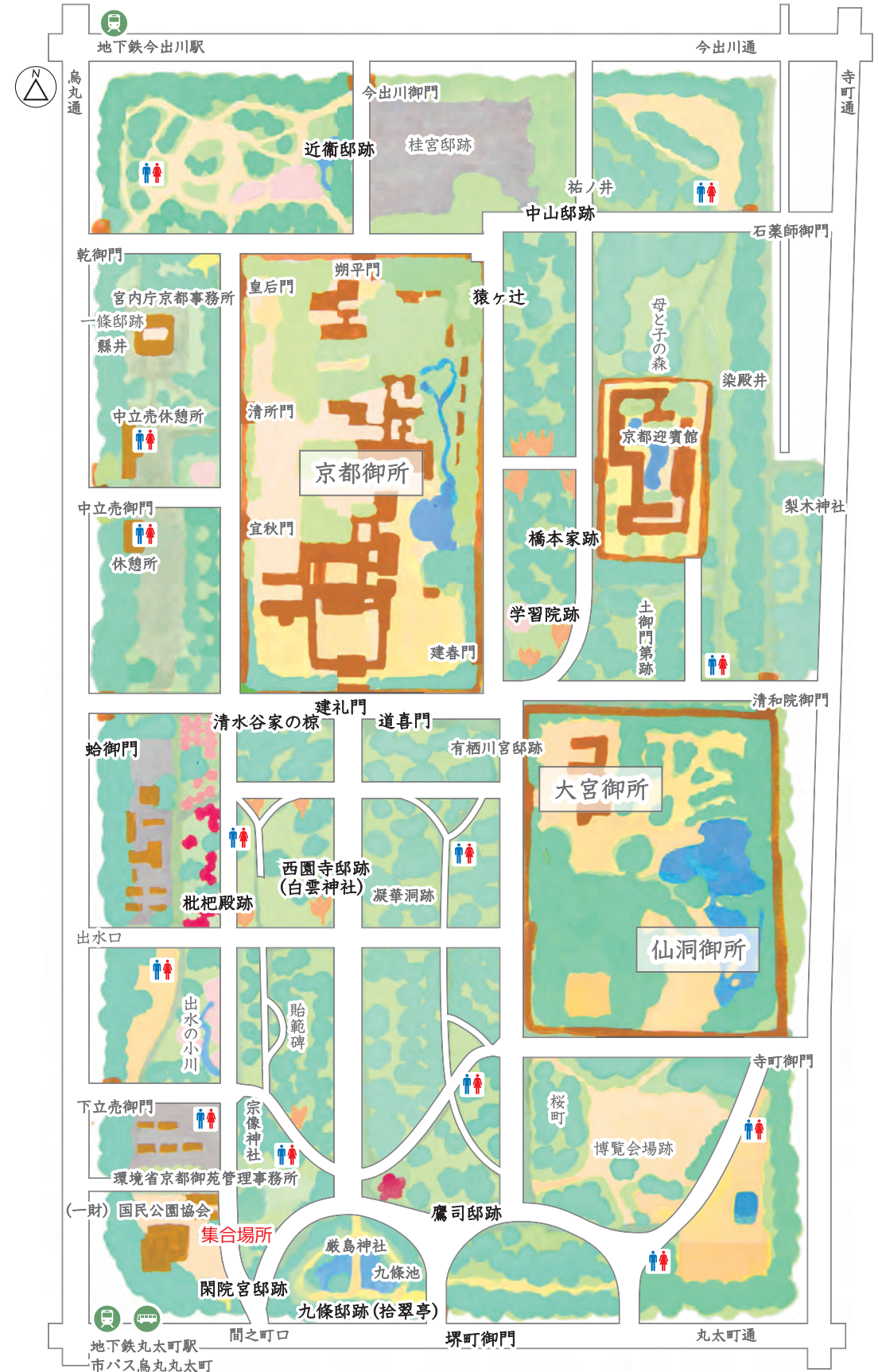
今後、さまざまな議論や課題はあると思いますが、過去2回、御大礼が京都で行われた実績を踏まえ、何とか次の大嘗祭は京都で実施されるよう道筋をつけていただきたいと思います。願っています。

数年前から提唱されている「双京構想」を、決して絵に描いた餅で終わらせないために、この構想を私もが身近な課題として認識するとともに、宮廷文化を京都らしい儀典文化として国の内外にアピールすることが大切ではないかと考えます。そ

の一環として、明後年（平成30年）には、京都市などのお力添えをいただいで、近代大礼の大々的な展覧会を開催したいと思っています。

（終了）

# 京都御苑歴史散策マップ



出典: 京都御苑歴史散策マップ (NPO法人 京都観光文化を考える会・都草 作成)